

平成 27 年度石川県計画に関する 事後評価

平成 29 年 9 月
石川県

3. 事業の実施状況

平成27年度石川県計画に規定した事業について、平成28年度終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	1. 医療機能の分化・連携に関する事業	
事業名	【No. 1】医療機能の分担・連携のために必要な施設・設備整備	【総事業費(H28)】 55,825千円
事業の対象となる区域	県内全域	
事業の実施主体	希望する医療機関	
事業の期間	平成27年10月1日～平成30年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>国による将来の必要病床数の推計値及び在宅医療の推進を図る観点から、回復期病床の大幅な増床が必要と考えられるため、回復期病床への転換を促進していく必要がある。</p> <p>アウトカム指標：平均在院日数36.5日(H23) → 短縮</p>	
事業の内容(当初計画)	<p>医療機関の機能分化・連携により、効率的かつ効果的な医療提供体制の構築を図るため、以下の施設・設備の整備に対して支援を行う。</p> <p>本県で大幅な増床が必要と考えられる回復期病床への転換に必要な施設・設備の整備 など</p> <p>※地域医療構想の内容に応じ、回復期に限らず、本県で不足している機能の病床の整備や、過剰な病床機能からの転換等に必要な施設・設備の整備に対して支援を行う予定。</p>	
アウトプット指標(当初の目標値)	回復期を担う病床の数 1,022床(H26.7) → 3,695床(H37)	
アウトプット指標(達成値)	回復期を担う病床の数 1,022床(H26.7) → 1,426床(H28)	
事業の有効性・効率性	事業の有効性 本事業の実施により、石川県の全域において、地域包括ケア病棟への移行が推進されている。	
	事業の効率性 事前に希望する病院の有無をアンケートしていたこともあり、効率的に実施できたと考える。	
その他		

事業の区分	1. 医療機能の分化・連携に関する事業	
事業名	【No. 2】認知症診療を行う医療機関の機能強化	【総事業費(H28)】 208,821千円
事業の対象となる区域	県内全域	
事業の実施主体	認知症診療を行う医療機関、認知症の増悪予防に取り組む医療機関	
事業の期間	平成27年10月1日～平成29年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	今後ますます増加する認知症患者に対応するため、病床の機能分化・連携により、効率的かつ質の高い医療提供体制の構築を図る必要がある。	
	アウトカム指標：新規認知症入院患者の2ヶ月以内退院率 42.1% (H26) → 50%以上 (H29)	
事業の内容（当初計画）	今後ますます増加する認知症患者に対応するため、認知症診療を行う医療機関の機能分化を進め、拠点となるべき医療機関や認知症の増悪予防に取り組む医療機関に必要な施設・設備整備を行う。	
アウトプット指標（当初の目標値）	拠点となる医療機関数 2機関 (H27.10) →8機関 (H29.3)	
アウトプット指標（達成値）	拠点となる医療機関数 2機関 (H27.10) →10機関 (H29.3)	
事業の有効性・効率性	事業の有効性 本事業の実施により、石川県における認知症診療の拠点となる医療機関の増加を図っている。	
	事業の効率性 事前に希望する病院の有無をアンケートしていたこともあり、効率的に実施できたと考えている。	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【No. 3】在宅歯科医療の推進	【総事業費(H28)】 0 千円
事業の対象となる区域	県内全域	
事業の実施主体	石川県歯科医師会	
事業の期間	平成 27 年 10 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	今後ますます増加していく在宅医療へのニーズに対応するため、在宅医療を支える人材の確保・育成や多職種連携強化など、更なる在宅医療提供体制の強化に努めていく必要がある。	
	アウトカム指標：在宅療養支援歯科診療所数 44(H27) → 増加(H30)	
事業の内容（当初計画）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医師向けの介護との連携、介護職等多職種による口腔管理など 各種研修会の実施 歯科医師を対象とした、要介護者の在宅医療に取り組む上で必要な介護の基礎知識やスキル等を修得するための研修などを実施する。 ・ 介護職に貸与する口腔環境スクリーニング用タブレットの整備 介護職は、タブレットを活用した在宅療養者の口腔環境のスクリーニング調査を行い、必要に応じ口腔ケアを提供する。 口腔保健医療センター（県歯科医師会）は、調査データの分析を基に、在宅療養者に適切な歯科医療を提供するためのコーディネート（一般開業医・訪問衛生士等の紹介、介護職・主治医等との情報交換等）を行う。 	
アウトプット指標（当初の目標値）	・ 研修会受講者数 100 人（毎年度）	
アウトプット指標（達成値）	—	
事業の有効性・効率性	—	
	—	
その他	※平成 28 年度は事業実施に向けた調整を行い、平成 29 年度から基金を活用する。	

事業区分 5 : 介護従事者の確保に関する事業

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【No. 1 (介護分)】元気な中高年介護分野参入促進事業	【総事業費】 3,900 千円
事業の対象となる区域	県内全域	
事業の実施主体	石川県 (石川県社会福祉協議会へ委託)	
事業の期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	早期離職を防止する観点から、若者・女性・高齢者など、多様な人材層ごとの働き方の希望に応じたきめ細やかなマッチングを行う体制を整備することが求められている。 アウトカム指標：介護職員の増加	
事業の内容 (当初計画)	<p>(1) 施策推進協議体の設置 シルバー人材センター、ハローワークや介護関係団体等との連携推進及び事業の評価・改善を行う</p> <p>(2) 事業のPR 市町やシルバー人材センター等と連携し、就労意欲や社会参加意欲のある中高年齢者に対して積極的な働きかけを行う</p> <p>(3) 介護に関する入門的な研修の開催及び介護サービス事業所での職場体験の実施 ・研修 (3 日間) 介護保険制度等の理解、コミュニケーション技術、生活支援技術など ・職場体験 (2 日間) 特別養護老人ホームなどの入所系施設</p> <p>(4) ハローワーク等との連携により、中高年齢者と介護サービス事業所をマッチング</p>	
アウトプット指標 (当初の目標値)	研修受講者：150 名 (毎年 1 割程度が介護事業所に就職することを目指す)	
アウトプット指標 (達成値)	研修受講者：100 名 (うち、1 割の 10 名が介護事業所に就職)	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：介護職員の増加 (1) 事業の有効性	

	<p>100 名が入門研修に参加、うち 75 名が職場体験に参加し、10 名が介護事業所に就職して、元気な中高年齢者を対象とした介護分野参入促進事業として一定の効果があつた。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>様々な研修を扱っており、マッチング専門員が配置されている社会福祉協議会に委託することで、効率的に事業を実施することができた。</p>
その他	